

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 0 号
件 名	B R Tによる税金の無駄遣いの中止について
要 旨	<p>昨年、新潟駅万代口広場を考えるワークショップがありました。私は2回目まで参加しました。広場はかつての新潟の町をイメージして堀と柳をテーマにしたものでした。グループは行政、設計者、市民で構成されます。討議の後の発表では、東大通の街路樹と中央の緑地帯を取り込みグリーンベルトにしようという意見でした。</p> <p>私たちの意見は駅きかく会議のブログに、新潟駅をおりると柳の連なり越しから大通りの緑化が見える。緑豊かな新潟を印象づける新潟にしたいと書かれ、このワークショップを整理し新潟市及び設計者に届けるとあります。</p> <p>ところが古町ローサ地下のビデオ（地域・魅力創造部製作）でB R Tが東大通を走り、分離帯の緑は見通しが悪いのでなくし、見晴らしのよくなった東大通はこれからの新潟市の顔になっていくとありました。全く理解していません。5月には分離帯にチューリップが咲き、萬代橋まで延びて市民や観光客の目を楽しませています。市民が自慢している新潟の顔なのです。B R Tを走らせることで育ててきた樹木の伐採はやめてください。今までのまちづくりが無駄になります。そして関係者も知らず新交通システムで町を壊すことはやめてください。</p> <p>りゅーとリンクは平成19年、利便性向上を目的に新たな交通システムとして人口密集地を走っています。路線には公共施設が集中しています。私の知人は河渡から古町でりゅーとリンクに乗りかえ、中央病院に通院しています。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	平成27年6月18日 環境建設常任委員会
受 理	平成27年6月12日 第143号

この路線が廃止された場合、河渡からバスステーションでBRTに乗りかえ、市役所でりゅーとリンクに乗りかえねばならず、乗りかえの回数がふえます。これが利便性でしょうか。今までのりゅーとリンクの利便性はどうなるのでしょうか。周辺住民は足がなくなるも同然です。

日中、古町でバスの乗りおりする人は、年齢層が高くお体の不自由さが目につきます。そういう人たちの乗りかえは大変です。ある人は「町に出るのも大変なのに、荷物を持ってバスを乗りかえるなんてできません。町に出られなくなります」とおっしゃいました。本当に調査されたのでしょうか。誰もが安心して暮らせる町がビジョンとなっています。その観点から公共交通のあり方を考えてください。

育てたものを壊し、壊されたものを復活させる、これこそ二重に税金の無駄遣いです。さきを見据えた都市計画や交通システムとは考えづらいです。BRTもバーチャルな世界としか思えません。なぜ平成34年にLRTに移行するのか、その理由もわかりません。またそこにBRT購入の無駄が生じます。工事は中止、税金の使い道はほかにあります。

BRTに関する工事は中止してください。以上、陳情いたします。